



生誕250周年記念 「楽聖ベートーヴェンの音色と、 その生涯」

期間：6月2日（火）～7月30日（木）

場所：県立久喜図書館 2階 公開図書室

埼玉県立久喜図書館 芸術・文学資料担当

久喜市下早見85-5 Tel：0480-21-2659



埼玉県立図書館
ウェブサイトQRコード

古典派音楽からロマン主義音楽への道を開いた偉大な作曲家、ベートーヴェン。「楽聖」とも称される彼は、難聴をはじめとした様々な病に悩まされながらも、「英雄」「運命」など九つの交響曲やピアノソナタ「熱情」「月光」といった、数多くの傑作を生みだしました。

今回の展示では、彼の生誕250周年を記念して、その生涯が記された伝記から、本人が遺した言葉に触れることができる書簡集・手紙、楽譜、楽曲の解説書、ベートーヴェンの楽曲が登場する小説、クラシックの入門書など、幅広い資料を集めました。

本たちの奏でる音色に、耳を傾けてみませんか。

〈人物編〉

- ベートーヴェンの生涯（伝記・年譜など）…………… 2
- ベートーヴェンの言葉（日記・書簡・手紙）…………… 3
- ベートーヴェンの病気…………… 3
- ベートーヴェンをもっと知る…………… 4
- ベートーヴェンとその周辺人物を題材に書かれた小説…………… 4

〈作品編〉

- 楽譜…………… 5
- オペラ…………… 5
- 楽曲解説・研究…………… 6
- ベートーヴェンを聴こう…………… 8
- 目で聴くベートーヴェン…………… 8
- ～ベートーヴェンの楽曲が作中に登場する小説～

〈クラシック入門編〉

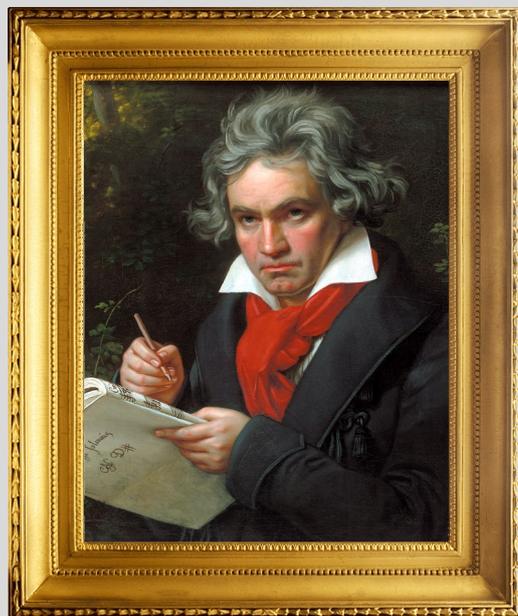
- オーケストラ…………… 10
- オーケストラの楽器…………… 10
- 音楽史…………… 10

目次

〈人物編〉

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)

1770年、ドイツのボンで、宮廷音楽家の家に生まれる。13歳から宮廷の音楽家となり、オルガンやピアノ、ヴァイオリンの演奏に加え、作曲にも秀でた万能音楽家に育つ。21歳のときウィーンに留学。将来を期待されていたが、28歳のころから難聴を患う。難聴が悪化したベートーヴェンは、弟たちに宛て『ハイリゲンシュタットの遺書』を書くほどに絶望するが、遺書を書く中で「自分に課された使命を果たすまでは死ねない」と感じ、その翌年から交響曲第3番「英雄」を制作するなど、己の苦しみや怒り、喜びを作曲に昇華するようになる。そのほかの代表作に、交響曲第5番「運命」、交響曲第6番「田園」、交響曲第9番(合唱付)、「エリーゼのために」、ピアノ・ソナタ第14番「月光」など。



書名

著者

出版社

出版年

1 ベートーヴェンの生涯 (伝記・年譜など)

ベートーヴェン (音楽家の伝記: はじめに読む1冊) 【児】ひのまどか著		ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス出版部	2019
ベートーベン (子どもの伝記5) 【児】	加藤純子文	ポプラ社	1995
隣のベートーヴェン [配]	小澤一雄作・絵	ポトス出版	2020
ベートーヴェン (カラー版 作曲家の生涯)	平野昭著	新潮社	1985
ベートーヴェン (岩波新書)	長谷川千秋著	岩波書店	1978
ベートーヴェン (〇〇〇伝記叢書)	F. ツォーベライ著	理想社	1983
ベートーヴェン (大音楽家・人と作品4)	大築邦雄著	音楽之友社	1978
ベートーヴェン (作曲家・人と作品シリーズ)	平野昭著	音楽之友社	2012
ベートーヴェン 上・下	メイナード・ソロモン〔著〕	岩波書店	1992
ベートーヴェン 音楽と生涯	ルイス・ロックウッド著	春秋社	2010
ベートーヴェン 生涯篇	属啓成著	音楽之友社	1963
ベートーヴェン完全詳細年譜	大崎滋生著	春秋社	2019
ベートーヴェンの生涯	ロマン・ロラン著、蜷川譲訳	旺文社	1977
ベートーヴェンの生涯	ロマン・ロラン著、片山敏彦訳	岩波書店	1991

2 ベートーヴェンの言葉（日記・書簡・手紙）

孤独の対話	山根銀二著	岩波書店	1968
新編ベートーヴェンの手紙 上・下	ベートーヴェン〔著〕	岩波書店	1982
ベートーヴェン書簡集	ベートーヴェン著	岩波書店	1957
ベートーヴェン書簡選集 上・下	小松雄一郎訳編	音楽之友社	1978
ベートーヴェンの恋文	J.シュミット=ゲールグ編	音楽之友社	1970
ベートーヴェンの言葉	津守健二著	朝日新聞社	1971
ベートーヴェンの日記	ベートーヴェン〔著〕	岩波書店	2001

♪ コラム1 不滅の恋人

生涯独身だったベートーヴェンですが、その人生は恋多きものでした。彼の死後見つかった宛名人不明の手紙には、「私の天使、私のすべて、私自身よ」から始まる情熱的な愛の言葉が綴られています。

しかし、この手紙には「わが不滅の恋人よ」とあるばかりでイニシャルなどは記載されておらず、研究者の間でも誰が不滅の恋人なのかはまだまだにはっきりしていません。



『ベートーヴェン 目でみるドキュメント』
ロバート・ポリー編 音楽之友社

右から順に
『ベートーヴェン（不滅の恋人）の研究』
『ボヘミア・ベートーヴェン紀行』
共に 青木やよい著 平凡社

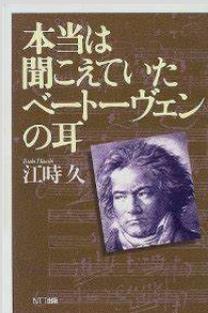
3 ベートーヴェンの病気

音楽と病	ジョン・オシエー著	法政大学出版局	2007
大作曲家の病跡学	小松順一著	星和書店	2017
天才の秘密	M.フィッツジェラルド著	世界思想社	2009
ベートーヴェン／シューベルト	アントン・ノイマイヤー著	東京書籍	1993
本当は聞こえていたベートーヴェンの耳	江時久著	NTT出版	1999

♪ コラム2 本当は聞こえていた？ ベートーヴェンの耳

病の絶えない人生だったベートーヴェン。中でも彼を苦しめたのが、難聴でした。難聴の原因には、梅毒説、鉛中毒説、耳硬化症説など諸説あり、はっきりとは分かっていません。

耳硬化症というのは、耳の中にあるあぶみ骨が硬くなり、振動を伝えなくなることによっておこる難聴で、人の声は聞こえなくなりますが、ピアノの音は感じ取ることができます。そのため、ベートーヴェンが難聴になってから優れた楽曲を生み出したり、オーケストラの指揮をとっていたのは、楽器の音が聞こえていたからではないか、という説もあります。



『本当は聞こえていたベートーヴェンの耳』
江時久著 NHK出版

■ リストは、児童書、一般書それぞれの中は書名順に掲載しています。掲載資料は所蔵資料の一部です。

■ 書名の後についている記号は、次の通りです。

所蔵場所：〔外〕…熊谷図書館外部書庫所蔵 〔配〕…配本所用資料 記号がないものは、久喜図書館所蔵です。

資料種別：【児】…児童書 【DVD】…DVD 【禁】…禁帯出保存資料（保存のため、貸出・コピー機による複写ができません）

4 ベートーヴェンをもっと知る

■ イラストと写真で見るベートーヴェン

絵本で読む音楽の歴史 4 ベートーヴェン		ヤマハミュージックメディア	1998
大作曲家の世界 2 ウィーン古典派の楽聖		音楽之友社	1990
ベートーヴェン 目でみるドキュメント	ロベール・ポリエ編	音楽之友社	1970

■ 当時の人々から見たベートーヴェン

ベートーヴェン回想	柿沼太郎訳編	音楽之友社	1970
ベートーヴェン訪問	M.ヒュルリマン編	白水社	1966

■ ベートーヴェンの交友関係

ゲーテとベートーヴェン	ロマン・ロラン著	新潮社	1966
ゲーテとベートーヴェン 巨匠たちの知られざる友情	青木やよひ著	平凡社	2004
ベートーヴェン〈不滅の恋人〉の探究	青木やよひ著	平凡社	2007
ボヘミア・ベートーヴェン紀行 《不滅の恋人》の謎を追って〔外〕	青木やよひ著	東京書籍	1995

■ ベートーヴェンの過ごした土地

ウィーン音楽地図	クリスティアン・M.ネベハイ著	音楽之友社	1987
ジョン・レノンが愛した森夏目漱石が癒された森	上原巖著	全国林業改良普及協会	2010

■ その他のベートーヴェン関連資料

解説ベートーヴェン全集 第1巻・第2巻【禁】	属啓成著	千代田書房	1952
兼常清佐著作集 4 音楽批評	兼常清佐著	大空社	2008
つべこべいわずにベートーヴェン〔外〕	砂川しげひさ著	東京書籍	1991
ベートーヴェン (世界伝記双書)	ロベール・ダルクール〔ほか著〕	小学館	1983
ベートーヴェン (人と芸術)	音楽現代編	芸術現代社	1977
ベートーヴェン像再構築 1~3	大崎滋生著	春秋社	2018
ベートーヴェンとベートーホーフェン	石井宏著	七つ森書館	2013
ベートーヴェンと変革の時代	フリーダ・ナイト著	法政大学出版局	1979
ベートーヴェンの遺髪	ラッセル・マーティン著	白水社	2001
ベートーヴェンの200年	目黒三策編集	音楽之友社	1969
ベートーヴェンの人間像	近衛秀麿著	音楽之友社	1970
ベートーヴェンを探して【DVD】	Phil Grabsky脚本、監督	グローバル・リンケージ	2010

5 ベートーヴェンとその周辺人物を題材に書かれた小説

小説ベートーヴェン	フェリックス・フーフ著	音楽之友社	1969
地球交響曲 小説ベートーヴェン	阿部牧郎著	文藝春秋	2000
ベートーヴェンな憂鬱症	森雅裕著	講談社	1988
ベートーヴェンの甥	ルイジ・マニアーニ著	出帆社	1975
ベートーヴェンを愛した女たち〔外〕	唯川恵著	ぶんか社	1995

〈作品編〉



書名

著者

出版社

出版年

6 楽譜

ベートーヴェン交響曲 第1番 (ハ長調 op.21)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第3番 (変ホ長調 op.55)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第4番 (変ロ長調 op.60)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第5番 (ハ短調 op.67)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第6番 (ヘ長調 op.68)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第7番 (イ長調 op.92)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第8番 (ヘ長調 op.93)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
ベートーヴェン交響曲 第9番 (ニ短調 op.125)	ベートーヴェン〔作曲〕	音楽之友社	1970
新編世界大音楽全集 器楽編 7 ベートーヴェン ピアノ曲集Ⅰ		音楽之友社	1990
新編世界大音楽全集 器楽編 8 ベートーヴェン ピアノ曲集Ⅱ		音楽之友社	1989
新編世界大音楽全集 器楽編 9 ベートーヴェン ピアノ曲集Ⅲ		音楽之友社	1990
新編世界大音楽全集 器楽編 35 ベートーヴェン ピアノ曲集Ⅳ		音楽之友社	1993
新編世界大音楽全集 声楽編 22 ベートーヴェン歌曲集		音楽之友社	1992

7 オペラ

ドイツ・オペラ 上 (スタンダード・オペラ鑑賞ブック3)	音楽之友社編	音楽之友社	1998
ベートーヴェン フィデリオ (名作オペラボックス3)	アッティラ・チャンパイ編	音楽之友社	1987
フィデリオ (オペラ対訳シリーズ1)		音楽之友社	1983
フィデリオ (オペラ対訳ライブラリー)	ベートーヴェン〔作〕	音楽之友社	2001

♪ コラム3 用語解説 曲の種類

協奏曲 (コンチェルト) ……オーケストラとソロの奏者が演奏する曲。ソロの楽器はヴァイオリンやピアノが多い。

交響曲 (シンフォニー) ……オーケストラのためのソナタのことで、スケールの大きな曲。多くは4つの楽章からなる。

ソナタ……複数の楽章からなる器楽曲 (独奏または合奏) のこと。第1楽章は速いテンポ、第2楽章はゆったり、第3楽章は舞曲、第4楽章は盛大に終わる。

室内楽……楽器が各パート1人ずつで構成された、2～10人による重奏。

オペラ (歌劇) ……16世紀末ごろにイタリアで生まれた、歌を中心に物語が進行する芝居。または、そのための曲。

参考：『楽しいオーケストラ図鑑』(小学館)

8 楽曲解説・研究

■ベートーヴェンの楽曲全般

新訳ベートーヴェンの本質	ハンス・メルスマン著	美学社	1993
鳴り響く思想 現代のベートーヴェン像	大宮真琴ほか監修	東京書籍	1994
ベートーヴェン (ソルフェージュ選書2)	アンドレ・ブーケレシュエフ(著)	白水社	1985
ベートーヴェン	リチャルト・ワグナー著 三光長治監訳	法政大学出版局	2018
ベートーヴェン 音楽の哲学	テオドル・W.アドルノ(著)	作品社	2010
ベートーヴェン 作品篇	属啓成著	音楽之友社	1963
ベートーヴェン 作曲家別名曲解説ライブラリー	音楽之友社編	音楽之友社	1992
ベートーヴェンを求めて	吉田秀和著	白水社	1984
ベートーヴェン研究	児島新著	春秋社	1985
ベートーヴェンとその時代	カール・ダールハウス著	西村書店	1997
ベートーヴェンの美学	デイヴィッド・B.グリーン著	勁草書房	1991
ベートーヴェン名曲案内	諸井三郎著	社会思想社	2009
吉田秀和全集 1 モーツァルト・ベートーヴェン	吉田秀和著	白水社	1982

■交響曲

朝比奈隆ベートーヴェンの交響曲を語る	朝比奈隆著	音楽之友社	1991
オー フロイデ 歓喜の歌の発音とうたいかた		東京音楽社	1983
「歓喜に寄せて」の物語	矢羽々崇著	現代書館	2007
最新名曲解説全集 1 交響曲	音楽之友社編	音楽之友社	1979
第九 世界的讃歌となった交響曲の物語	ディーター・ヒルデブランド(著)	法政大学出版局	2007
第九交響曲	ロマン・ロラン著	みすず書房	1967
プロメテウスのシンフォニー	丸山桂介著	春秋社	1984
ベートーヴェン第5交響曲の分析	ハインリヒ・シェンカー著	音楽之友社	2000
ベートーヴェン第九	小松雄一郎著	築地書館	1979
ベートーヴェンの交響曲	マルティン・ゲック著	音楽之友社	2017
ベートーヴェンの<第9>	金子建志著	音楽之友社	1996
ベートーヴェンの第9交響曲	ハインリヒ・シェンカー著	音楽之友社	2010

■ピアノソナタ・ピアノ全般

解説ベートーヴェン全集 第3巻 【禁】	属啓成著	千代田書房	1952
---------------------	------	-------	------

最新名曲解説全集 14 独奏曲	音楽之友社編	音楽之友社	1980
西洋音楽演奏史論序説	渡辺裕著	春秋社	2001
ベートーヴェン ピアノ・ソナタ演奏法と解釈	パウル・バドゥーラ=スコダ著	音楽之友社	2003
ベートーヴェン ピアノ・ソナタの探究	野平一郎著	春秋社	2017
ベートーヴェンを“読む” 32のピアノソナタ	チャールズ・ローゼン著	道出版	2011
ベートーヴェン32のソナタと演奏家たち 上・中・下	ヨーアヒム・カイザー 著	春秋社	1984
ベートーヴェンのピアノ作品	伊藤義雄著	音楽之友社	1962
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第28番op.101批判校訂版	ハインリヒ・シエンカー著	音楽之友社	2015
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第30番op.109批判校訂版	ハインリヒ・シエンカー著	音楽之友社	2012
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第31番op.110批判校訂版	ハインリヒ・シエンカー著	音楽之友社	2013
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第32番op.111批判校訂版	ハインリヒ・シエンカー著	音楽之友社	2014
諸井誠のベートーヴェン ピアノ・ソナタ研究 1~3	諸井誠著	音楽之友社	2007

■その他（室内楽・協奏曲など）

音楽家訪問	アラン著	岩波書店	1980
解説ベートーヴェン全集 第4巻【禁】	属啓成著	千代田書房	1952
最新名曲解説全集 4 管弦楽曲	音楽之友社編	音楽之友社	1980
最新名曲解説全集 9 協奏曲	音楽之友社編	音楽之友社	1980
最新名曲解説全集 12 室内楽曲	音楽之友社編	音楽之友社	1980
最新名曲解説全集 22 声楽曲	音楽之友社編	音楽之友社	1981
ベートーヴェン器楽・室内楽の宇宙	中村孝義著	春秋社	2015
ベートーヴェン闘いの軌跡	井上和雄著	音楽之友社	1970
ベートーヴェンのヴァイオリン作品	ヨーゼフ・シゲティ著	音楽之友社	1993
ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ	マックス・ロスタール著	音楽之友社	1986

9 ベートーヴェンについて特集した音楽雑誌

もっと知ろう ベートーヴェンの交響曲（音楽の友 2018年11月号）	音楽之友社	2018.11
ベートーヴェンとショパン 究極のピアノズムを探る（音楽の友 2019年12月）	音楽之友社	2019.12
ベートーヴェンからヴァイオリンへ（音楽の友 2020年1月）	音楽之友社	2020.1
ベートーヴェンの3本柱+a 〈1〉交響曲の世界（音楽現代 2019年5月）	芸術現代社	2019.5
ベートーヴェンの3本柱+a 〈2〉ピアノ・ソナタの世界（音楽現代 2019年6月）	芸術現代社	2019.6
ベートーヴェンの3本柱+a 〈3〉弦楽四重奏曲の世界（音楽現代 2019年7月）	芸術現代社	2019.7
ベートーヴェンの3本柱+a 〈4〉a=協奏曲、ミサ・ソレムニス、オペラフィデリオ他、主要作品の世界（音楽現代 2019年8月）	芸術現代社	2019.8
ベートーヴェンと12人+aの大作曲家（音楽現代 2019年9月）	芸術現代社	2019.9

10 ベートーヴェンを聴こう

クラシックCDの名盤 宇野功芳著 文藝春秋 2014

僕の選んだベートーヴェンの名盤 宇野功芳著 音楽之友社 1982

■CD ※3番以外全て熊谷図書館所蔵 (3番は久喜図書館所蔵)

1	ヴァイオリン協奏曲二長調作品61 [ほか]	ギドン・クレームル (VLN)	TELDEC	1993
2	ヴァイオリン・ソナタ全集/ベートーヴェン	ピンカス・ズッカーマン (VLN) マーク・ナイクルグ (PF)	BMG MUSIC	1992
3	弦楽四重奏曲集 初期・中期・後期	ウィーン・アルバン・ベルク四重奏団	東芝EMI	1985
4	交響曲全集/ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン	クラウディオ・アバド (C) ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	DEUTSCHEGRAM-MOPHON	2007
5	交響曲全集/ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン	ミハイル・プレトニョフ (C) ロシア・ナショナル管弦楽団	DEUTSCHEGRAM-MOPHON	2008
6	バガテル集/ベートーヴェン	アルフレッド・ブレンデル (PF)	PHILIPSCCLASSICS	1997
7	ピアノ協奏曲全集/ベートーヴェン	マウリツィオ・ポリーニ (PF)	DEUTSCHEGRAM-MOPHON	1994
8	ピアノ・ソナタ全集 1~3	フリードリヒ・グルダ (PF)	AMADEO	1968
9	ピアノ三重奏曲第7番変ロ長調作品97: 大公/ ベートーヴェン. ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調D.898/シューベルト	カザルス・トリオ	東芝EMI	2001
10	32の変奏曲/短調WOO.80 [ほか] /ベートーヴェン	グレン・グールド (PF)	CBSソニー	1989

■レコード ※全て外部書庫所蔵

弦楽四重奏曲第12番変ホ長調作品127 ; 弦楽四重奏曲第16番ヘ長調作品135/ベートーヴェン	ウィーン・アルバン・ベルク四重奏団	東芝EMI
交響曲第3番/ベートーヴェン. 前奏曲/リスト	ウィーン・フィルハーモニック管弦楽団 ウィルヘルム・フルトヴェングラー (C)	東芝EMI
交響曲第5番八短調作品67: 運命/ベートーヴェン	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 カルロス・クライバー (C)	ポリドール
交響曲第6番ヘ長調作品68: 田園/ベートーヴェン. 魔笛: 歌劇: 序曲/モーツァルト	コロンビア交響楽団 ブルーノ・ワルター (C)	CBSソニー
交響曲第九番二短調作品125: 合唱/ベートーヴェン	パイロイト祝祭管弦楽団及び合唱団 ウィルヘルム・フルトヴェングラー (C)	東芝EMI
ピアノ協奏曲全集/ベートーヴェン	アルフレッド・ブレンデル (PF) シカゴ交響楽団 ジェイムズ・レヴァイン (C)	日本フォノグラム

11 目で聴くベートーヴェン ~ベートーヴェンの楽曲が作中に登場する小説~

いちご同盟 [外] 登場する曲: ピアノソナタ第15番 二長調「田園」	三田誠広著 この曲が聞けるCD: 8	河出書房新社	1990
海辺のカフカ 上・下 登場する曲: ピアノ三重奏曲第7番 変ロ長調「大公」	村上春樹 この曲が聞けるCD: 9	新潮社	2002
エロイカ変奏曲 登場する曲: 「プロメテウスの創造物」の主題による15の変奏曲と フーガ (エロイカ変奏曲) Op.35	三田誠広著 この曲が聞けるCD: 10	角川書店	1982

王女マメーリア 登場する曲：交響曲第1番～第9番	ロアルド・ダール著 この曲が聞けるCD：4, 5	早川書房	1990
大いなる聴衆〔外〕 登場する曲：ピアノソナタ第29番（ハンマークラヴィーア）	永井すみ著 この曲が聞けるCD：8	新潮社	2000
弦と響〔配〕 登場する曲：弦楽四重奏曲第8番 ホ短調「ラズモフスキー2番」 弦楽四重奏曲第11番 へ短調「セリオソ」 弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調	小池昌代著 この曲が聞けるCD：3	光文社	2011
さよならデュッシー〔配〕 登場する曲：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」	中山七里著 この曲が聞けるCD：7	宝島社	2010
受難〔外〕 登場する曲：エリーゼのために	姫野カオルコ著 この曲が聞けるCD：6	文芸春秋	1997
猫弾きのオルオラネ〔外〕 登場する曲：交響曲第9番	夢枕獏著 この曲が聞けるCD：4, 5	集英社	1989
春のソナタ〔外〕 登場する曲：ヴァイオリンソナタ第5番 へ長調〈春〉	三田誠広著 この曲が聞けるCD：2	集英社	1995
ふたり 登場する曲：交響曲第9番	赤川次郎著 この曲が聞けるCD：4, 5	新潮社	1989
マンハッタン英雄未満〔外〕 登場する曲：交響曲第3番	森雅裕著 この曲が聞けるCD：4, 5	新潮社	1994
蜜蜂と遠雷 登場する曲：ピアノソナタ第3番 八長調 ピアノソナタ第26番 変ホ調「告別」	恩田陸著 この曲が聞けるCD：8	幻冬舎	2016
四日間の奇蹟〔外〕 登場する曲：ピアノソナタ第14番「月光」	浅倉卓弥著 この曲が聞けるCD：8	宝島社	2003

🎵 コラム4 ほかにもある！ ベートーヴェンの曲に関する物語

『セロ弾きのゴーシュ』（宮沢賢治著）

この作品には「交響曲第6番」という曲が出てきます。作中には誰のものか記されていませんが、宮沢賢治はベートーヴェンのことが好きで、交響曲第6番「田園」のレコードも持っていたことなどから、ベートーヴェンの交響曲第6番ではないか、という説があります。

『セロ弾きのゴーシュ』

宮沢賢治文
佐藤国男画
さんこう社



『クロイツェル・ソナタ』（トルストイ著）

この作品は、ベートーヴェンのバイオリン・ソナタ第9番 伊長調「クロイツェル・ソナタ」に触発されて書かれた小説です。更に、この小説に刺激を受け、チェコの作曲家ヤナーチェクは、弦楽四重奏曲「クロイツェル・ソナタ」を書き上げました。

『クロイツェル・ソナタ』

トルストイ著
原卓也訳
新潮社



■「この曲が聞けるCD」の欄に書かれている数字は、左ページのCDについている番号に対応しています。

〈クラシック入門編〉

書名	著者	出版社	出版年
12 オーケストラ			
オーケストラ大図鑑【児】	PHP研究所編	PHP研究所	2008
オーケストラだいすき【児】	小澤一雄作・絵	ポトス出版	2002
オーケストラの絵本【児】	ロバート・レヴァイン文	プレジデント社	2014
オーケストラ笑う【児】	小澤一雄作・絵	ポトス出版	2015
こどもたちのオーケストラ入門【児】	矢吹申彦えと文	評論社	1990
楽しいオーケストラ図鑑【児】	東京フィルハーモニー交響楽団 監修	小学館	2018
105にんのすてきなしごと【児】	カーラ・カスキ文	あすなろ書房	2012
山田和樹とオーケストラのとびらをひらく【児】	山田和樹著	アリス館	2013
オーケストラを読む本	鈴木織衛編	トーオン	2000
オーケストラの読みかた	池辺晋一郎著	学習研究社	2005
交響曲入門	田村和紀夫著	講談社	2011
はじめてのクラシック	黒田恭一著	講談社	1987
別冊太陽 オーケストラ〔外〕		平凡社	1998
13 オーケストラの楽器			
絵本ワニのオーケストラ入門【児】	ドナルド・エリオット文	岩波書店	1983
オーケストラの楽器たち	石本祐吉著	アグネ技術センター	2000
ピアノ図鑑	ジョン＝ポール・ウィリアムズ著ヤマハミュージックメディア		2016
ピアノはいつピアノになったか？	伊東信宏編	大阪大学出版会	2007
14 音楽史			
音楽のあゆみと音の不思議 3【児】	小村 公次著	大月書店	2019
オーケストラの音楽史	パウル・ベッカー著	白水社	2013
オーケストラの文明史	小宮正安著	春秋社	2011
音楽のヨーロッパ史	上尾信也著	講談社	2000
西洋音楽史（中公新書）	岡田暁生著	中央公論新社	2005